

## ★見えない部分を想像できる人に・・・★



朝夕はめっきり冷え込み、初霜の便りが届く頃となりました。7日(金)は立冬。暦の上では冬の季節到来です。澄みわたる秋空が心地よく感じられます。明日5日(水)は満月スーパームーンです。保護者の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

4月13日に開幕した大阪・関西万博が先月終了しました。「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマのもと、158の国や地域が参加し、文化・人種の多様性を共有するとともに、さまざまな社会課題の解決に向けた取り組みが紹介されていました。「多様でありながら、ひとつ」という理念のもと、異なる文化や価値観を受け入れることの重要性も発信されました。

国内外問わず不寛容な時代と言われる昨今。生き抜くために大切なことは、排除ではなく多様な価値観を認め合う姿勢、柔軟な思考、そして心理的安全性を確保することと言われています。心理的安全性とは、集団の中で自分の意見や気持ちを安心して発言できる状態のことです。不寛容な時代だからこそ、他者への想像力を働かせ、自らも柔軟でいられる姿勢が、個人としても社会全体としても平和を維持推進するために必要な鍵となります。学校もそうした力を培う一翼を担っています。

しかし人は、物事を自分の都合の良いように解釈する心理を持っているようです。「バイアス」です。先入観や偏見、思い込みなどによって事象をかたよった視点で判断してしまう傾向があります。だからこそ意識して他者に向けるまなざしはやわらかくし、人を見たく、一面的にとらえないように気をつけたいものです。

私が生まれる前に出版された『フレデリック』（レオ＝レオニ著／谷川俊太郎訳 好学社）という絵本をご存知でしょうか。あらすじはこうです。寒くて暗い冬の日、に備え、せっせと小麦やワラを集める野ねずみたちの中で、フレデリックはいつも座り込むばかり。実際は一身に日の光を集め、心の中に言葉をため込んでいました。つらい冬ごもりの間、彼が集めた光はぬくもりに、言葉は楽しいお話になり、みんなに愉快的ひとときをもたらしました。野ねずみたちは拍手喝采。  
〈おどろいたなあ、フレデリック。きみって 詩人じゃないか！〉

見える部分だけが真実ではなく、見えない部分にも想像力を働かせ、柔軟な思考で世の中を見渡す姿勢が大切なことを改めて気づかせてくれます。多様性を認め、言葉の力や生命の存在意義をやさしいタッチで伝えてくれる名著です。こころが自然とあたたかくなります。



15日(土)は学校祭です。実りの秋にふさわしい子供たちの個性豊かな作品や演技は、本校のかけがえない宝物です。ご家庭におかれましても、その頑張りに温かい声援やねぎらいの拍手を送っていただければ幸いに思います。錦秋のひととき、どうぞ心ゆくまで学校祭を堪能してください。 文責：寺沢 光明